

丹南農林だより

豊かな緑 次代へ

「緑が増えますように」などと森や緑への想いが書かれた
風船300個を一斉に放つ(6月7日丹南会場)



未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと
第60回全国植樹祭
2009ふくい

第60回 全国植樹祭 丹南会場

「未来につなごう 元気な森 元気なふるさと」をテーマに第60回全国植樹祭が6月7日に開催されました。

丹南会場は、国内最大級の植物園 越前町の福井総合植物園プラントピア朝日。当日の入場者数は約5,000人。緑豊かな自然に囲まれた植物園ならではの草木や花にちなんだ体験型イベントが展開されました。

「緑の体験回遊」では、自然観察ツアーや木工教室などが行われ、木工教室では、県産スギを使ったミニプランターづくりにより多くの家族連れが挑戦。出来上がりに満足そうな笑顔を見せていました。

また、宮家お印の木5種類の記念植樹、緑の少年団、県民による桜などの植樹が行われました。



みんな一緒にプランターづくり

宮家お印の木

アズサ (皇太子さま)
シラカンバ (皇后さま)
ハマナス (雅子さま)
ゴヨウツツジ(愛子さま)
コウヤマキ (悠仁さま)

第38回 全国林業後継者大会

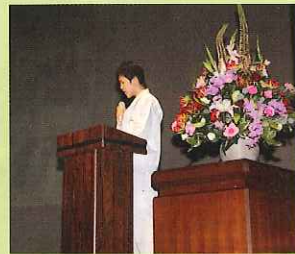
全国植樹祭の前日6月6日に、森林を後世に残す意義や課題を考える「第38回全国林業後継者大会」が県内外約900名の参加を得て、越前市文化センターで開催されました。

県内の団体や高校生による森林保全活動の発表やパネルディスカッションが行われ、参加した林業者らは森林の未来について考えを深めました。

活動発表では、越前市の余川山輝グループが、木いちご栽培の取り組みを披露し「楽しみながら後継者を育てること」を強調。また、武生工業高校の生徒たちはスギの間伐材を使用した木工品づくりなどの活動を報告。会場から大きな拍手が送られていました。



福井農林高校のアトラクションで開会



武生工業高校の活動を全国に発信

丹南農林総合事務所

越前市上太田町 41-5 TEL(0778)23-4545

丹生分庁舎 越前町内郡 14-36 TEL(0778)34-1790

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tan-noso/>

E-mail tan-noso@pref.fukui.lg.jp

平成21年6月26日

No.28



健康長寿な福井です。

みんなが主役!! これからの植樹祭

県では、植樹祭を契機とした県民運動「元気な森づくり」や「花と緑にあふれたふるさとづくり」などを継続して実施していきます。

今回、植樹祭には参加できなかったという方は、これからでも大丈夫。美しい花や緑でいっぱいのふるさとを創っていきませんか。



地域住民主体による木製プランターづくり(花陸公園) 6月7日



丹南農林総合事務所職員の手作りプランター。後継者大会の来場者をおもてなし



アイシンAW工業による森づくり(南越前町) 5月16日

養老孟司氏・CW ニコル氏ら 越前市でシンポジウム開催

8/9
(日)

次世代に残す福井の森林のあり方を探るシンポジウム「21世紀を森林の時代に」が下記により開催されます。

全国的に著名な講師陣が越前市に集結。福井の自然環境について一緒に考えてみませんか。

- ① 日 時 平成21年8月9日(日)18:30～
- ② 場 所 越前市文化センター大ホール
- ③ 主 催 日本に健全な森をつくり直す委員会
- ④ 後 援 福井県 ほか
- ⑤ 入場料 1,000円
- ⑥ 内 容 [基調講演] 養老孟司
立松和平
CWニコル



ポスト植樹祭 越前市で開催

平成22年
6月

ポスト植樹祭が、来年度、越前市安養寺「太陽の広場」で開催されることになりました。

現在、丹南地域の取り組みや特色をどのように表現していくかなど、内容について検討を始めたところです。

コニーちゃんの造林事業よもやま話 第1話

○みんなが森を支えている

みなさんこんにちは！みなさんが毎日なげなく見ている山。これら福井の山々がみどりでいっぱいになっているのも、実は人間が管理し続けているからだということをご存知でしょうか？これらの多くは昔から人が植えてきたスギです。しかし、人が植えた森は放置しておくと荒れてしまいます。そのため、国や県の補助制度を活用して、常に手入れがされているのです。主に森林所有者や委託された森林組合が作業を行っています。

これら補助制度はみなさんの大切な税金で賄われています。そのため、私たち丹南農林総合事務所では、地球温暖化を防止するなど人類の財産である森を元気にし、豊かな未来を築くため、税金が効果的に使われるよう業務を行っております。そうそう、森の手入れといえば、木を切ることは環境破壊だと思いますか……？

(次回へつづく)



コニーちゃん

『中干し』、『草刈り』で品質向上を!!

① 中干しによる胴割米、乳白米発生防止

『中干し』は、過剰生育の抑制、根の生長促進を通して、胴割米、乳白米の発生を抑制します。中干しをまだ行っていない水田では、品質改善に向け、早急の実施しましょう。

コシヒカリは、移植なら1株茎数18本、直播なら1mあたり茎数100本で、中干し開始です。水田が少しひび割れたら入水し、その後は、間断通水を繰り返して、出穂期に歩いて沈まない程度に仕上げます。

胴割米発生率

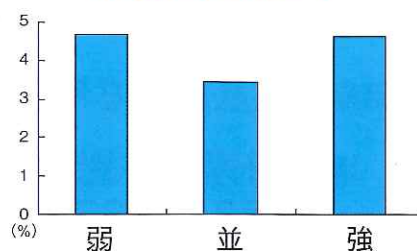


図 中干しと胴割米発生との関係
(H20、南越管内調査データ)

② 草刈りによる斑点米防止

斑点米カメムシはイネ科雑草の中で増殖します。畦畔の草刈り、大麦後水田の耕うんを、7/10までに必ず2回実施し、斑点米カメムシの生息数を減らしましょう。

※草刈りデーは6/20～21と7/4～5の2時期。草刈り、耕うんが遅いと、カメムシが、雑草地から水田にそのまま移動しますので、期限は厳守!

※過度な中干しは、胴割米、乳白米発生となるため、中干しは適度の実施しましょう。

「地域農業支援員」が野菜栽培のコツをお教えします

県では、農業の活性化および園芸振興の拡大を図るため、「地域農業支援員」を委嘱しています。地産地消に関する技術、農薬の適正使用、伝承料理や加工等に関する指導をお願いしています。

平成21年4月24日、丹南農林総合事務所にて、南越地区で11名、丹生地区で4名の方が委嘱されました。

野菜栽培のコツを学んでいただき、直売所等へ出荷を増やし、消費者に喜ばれる農産物作りを目指しませんか。

農薬の使い方、
これで
いいのかなあ?

野菜を作って
直売所へ
出したいなあ



お問い合わせ: 丹南農林総合事務所 農業経営支援部 (TEL0778-23-4545 内線 264)
丹生技術経営支援課 (TEL0778-34-1790 内線 302)

アグリビジネス農産加工スキルアップ講座

参加者大募集!!

昨年のアグリビジネス講座に引き続き、農産物の高付加価値化を図るため農産加工に必要な専門的知識と技術を習得するための講座を開きます。

- 開催時期 平成21年6月26日～平成22年2月（6回シリーズ）
- 会場 丹南農林総合事務所農業技術研修館 他
(〒915-0882 越前市上太田町41-5)
- 対象者 農産加工実践者、または加工による起業活動を考えている丹南管内農業者
25名（申込み多数の場合は、先着25名程度となります）
- 受講料 無料（受講料は原則として無料とします）

	日 時	主 な 内 容	場 所
1	6月26日 午後1:30～	米の加工理論と米ヨーグルトの実演 米粉とその利用	南越合同庁舎 (農業技術研修館)
2	7月29日	保存方法(乾燥,塩蔵,冷凍,瓶詰め)の加工理論と実習 フリーズドライ加工について【現地研修】	丹生分庁舎 越前町ふるさと特産加工場
3	10月	保存野菜(塩蔵,冷凍,瓶詰め)の加工理論と実習 ピューレ等(冷凍トマト)・ブルーベリーの加工理論と実習	食品加工研究所
4	11月	麴づくりの理論と実習 大豆加工の理論と実習	南越合同庁舎 (農業技術研修館)
5	1月	農産加工品の販路開拓,宣伝方法 デザイン(ラベル・パッケージ)の基礎知識	南越合同庁舎 (農業技術研修館)
6	2月	商品研究(改善策・分析と課題等) 販売,事業の方向性など	南越合同庁舎 (農業技術研修館)

※1回のみ受講もできます。受講を希望される方は下記までお申し込み下さい。
お申し込みされた方には、6月以降の日時等の詳細について、決まり次第ご連絡します。

お問合わせ

丹南農林総合事務所農業経営支援部

(電話 0778-23-4545 FAX 0778-22-4862)

松ヶ鼻頭首工の改修に着手しました!!



松ヶ鼻頭首工の改修工事が平成21年度採択されました。

本頭首工は、築造以来40年以上が経過しており、水門設備について出水時における適正な水門操作に支障があるとして、早期改修が望まれておりました。

本年度より全体実施設計に着手し、平成25年度完了を目指しています。なお、事業概要は下記のとおりです。

〈事業概要〉

- ① 事業名 県営農業用河川工作物応急対策事業
- ② 地区名 松ヶ鼻地区
- ③ 事業主体 福井県
- ④ 事業工期 平成21年度～平成25年度
- ⑤ 受益面積 1,653.7 ha
- ⑥ 総事業費 15億円
- ⑦ 事業概要
 - (1) 水門工 1式
(洪水吐：3門、排砂制水門：1門、排砂門：2門、取水門：4門、調整水門：1門)
 - (2) 管理棟 1式
 - (3) 付帯工 1式

平成21年度

農村活性化推進員を委嘱しました

農村地域は、農産物の生産活動の場であるとともに、農業者の生活の場として、また自然環境の保全や景観形成、文化の伝承など、多面的機能をあわせもつ重要な地域です。

このような地域特性を活かした、活力あふれる住みよい農山漁村地域づくりのため、地域活動のリーダーとして、地域の情報収集や活性化への提言、実践者としてご協力いただくよう、市町からの推薦により農村活性化推進員として、2年の任期で委嘱しています。

平成21年4月23日、新たに14名(南越11名、丹生3名)の方々に委嘱しました。昨年度委嘱者を含め28名の方々に直売や加工、食育などの推進について地域の核となってお活躍いただきたいと思います。



水仙球根改植ボランティア 「越前水仙花咲かそう大作戦2009」を実施しました。

冬の越前水仙の咲き誇る景観を守るため、平成18年からボランティアによる改植を実施しています。今年度は、農道の敷設に伴いその下に埋まってしまう球根を掘り上げる作業を、平成21年6月13日(土)に越前町左右集落で行い、過去最高の350名の参加がありました。

今年は福井県華道協会や福井県花商協同組合の協力を得てチラシ等の配布や参加呼びかけを行い、特に今回は、華道教室等で水仙を利用されている皆様のご参加をいただきました。また、ボランティアに興味を持っているボーイスカウト、子供会の参加も増え、各界各層へ裾野が広がってきています。

ボランティアに参加された人たちは、「大変な重労働だったけど、きれいな花が咲いて欲しいから頑張った。」「水仙の咲く時期に、また見に来たいです。」などと語っていました。

掘り上げた球根は、今後、地元農家の手で他の場所に移植していく予定です。



ボランティア会場



球根掘起し作業

旬の野菜料理レシピができました!!

丹生地区の農村活性化推進員6名が、直売所で販売されている野菜の手軽でおいしいレシピを作りました。

スーパーなどで、店内にレシピが掲示された食材の売れ行きが伸びる……という話からヒントを得て、「地場産野菜の販売促進につながる野菜料理のレシピを、みんなで作ろう」ということになったものです。

直売所で販売量が多い野菜を中心に自慢の腕をふるった料理を持ち寄り、作ったレシピは一年間で100種以上にもなりました。その中から、簡単に作ることができておいしく、お客様の購買意欲をそそるものを厳選して48種類をカラー印刷しました。

管内の直売所や量販店に配布するほか、学校給食センターの栄養教諭にも配布、地場産学校給食の一層の推進に役立てば、と考えています。



編集風景



簡単でおいしい自慢の料理がたくさん!



完成した「旬の野菜料理レシピ」